

● 平常時の利活用について住民のみなさんと一緒に検討しています。

地元住民の方々、国、長野市の 3 者で河川防災ステーションの形状や平常時の利活用方法等について話し合うワークショップを継続して開催しており、ワークショップで出た意見を参考に検討を進めています。

第 1 回ワークショップ



開催日時

令和 2 年 12 月 20 日

実施内容

チームに分かれて河川防災ステーションに欲しい施設や機能の「アイデア出し」を実施。

第 2 回ワークショップ



開催日時

令和 3 年 1 月 24 日

実施内容

アイデアの種類を分類し、各分類毎に話し合いを実施し、良いと思うアイデアに投票。

第 3 回ワークショップ



開催日時

令和 3 年 2 月 27 日

実施内容

第 2 回 WS で投票の多かったアイデアを建物の「内」「外」で分類し、グループトークを実施。各エリアの中で優先度の高いものを整理。

第 4 回ワークショップ



開催日時

令和 3 年 3 月 28 日

実施内容

ワークショップで皆様から出していただいた「アイデア」に対して行政機関（国土交通省、長野市）から検討結果を回答し、実施可能な施策についてイメージを示しながら、内容を説明。

令和 3 年度以降継続

● 埋蔵文化財（長沼城）発掘調査と地域と歴史をつなぐ整備について

長沼地区河川防災ステーションの計画地区は戦国時代の城である長沼城の跡地であるため、防災ステーションの整備の前に発掘調査を実施しています。



令和 3 年（2021）11 月 長沼城跡発掘調査の状況

● 備蓄資材の用途

災害時の堤防・河岸の保護や、堤防決壊後、次の出水に備えた速やかな復旧に土砂や根固めブロックが大量に必要となります。

今回整備する河川防災ステーションには、災害時や堤防決壊後の復旧に必要な資材（土砂、根固めブロックなど）を備蓄し、水防活動や緊急復旧活動の拠点として機能します。

復旧状況の例



令和元年（2019）東日本台風における堤防の決壊状況



令和元年（2019）10.30 応急復旧完了時



令和 2 年（2020）6.6 堤防復旧完了時

お問い合わせ

国土交通省北陸地方整備局

千曲川河川事務所

長野市

企画政策部 復興推進特別対策室
建設部 河川課

〒380-0903 長野市鶴賀字峰村74

TEL 026-227-7611

FAX 026-227-9466

〒380-8512

長野市大字鶴賀緑町1613番地

TEL 026-226-4911

@mlit_chikuma

千曲川河川事務所 検索



@nagano_city

長野市防災情報ポータル 検索



令和 4 年 2 月作成

長沼地区 河川防災ステーション

～災害への備えと地域復興のシンボル～

● 千曲川における防災ステーションの必要性

令和元年東日本台風（台風第 19 号）による未曾有の豪雨により被災した千曲川沿岸では、早期の復旧・復興とともに、今後甚大化、頻発化が懸念される自然災害への備えが必要です。

このため長沼地区をはじめとする千曲川沿川では、堤防など河川管理施設の保全、被災時の緊急復旧活動の拠点として河川防災ステーションを整備し、平常時は地域の交流や防災学習の場として活用される予定です。

長沼地区河川防災ステーション 完成予想イメージ



全体図



天王宮の復元



土砂備蓄場の利用



複合施設（交流センター兼水防施設）

※本図は検討段階のイメージであり、今後、長野市複合施設のデザインや配置、上面整備は、地元住民の皆さんの意見を踏まえて変更する予定です。

河川防災ステーションとは

●洪水時等の緊急対応を迅速に行うため、コンクリートブロック等の資材の備蓄や水防団の安全な待機場所などを集約し、市町村等と河川管理者が連携して整備するものです。

●令和 3 年 3 月末時点で全国 142 箇所が登録されており、整備済みの施設では

- ①公園・広場などのレクリエーション
 - ②物産館の併設など地域の魅力の発信拠点
 - ③祭りなど市民の交流の場
 - ④防災学習の場
- として平常時利用されています。

長沼地区河川防災ステーション施設概要

千曲川管内では、令和元年東日本台風（台風第 19 号）による堤防決壊を含む甚大な浸水被害を受けて策定された、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」において、国、長野市による「防災拠点の整備」が位置付けられ、長沼地区では河川防災ステーションの整備を実施しています。

長沼地区の位置する千曲川左岸には県都長野市の市街地が存在し、人口・資産の集中、流域下水道処理場など重要施設が存在するため決壊が発生した際は、甚大・深刻な被害が想定され、河川防災ステーションでは、災害時の円滑な復旧活動を目的として、土砂、ブロック、割栗石等の資材を備蓄し、迅速かつ、円滑な水防活動、災害復旧活動の実施を図ります。

平常時は土砂備蓄スペースを芝生広場等を長沼支所、交流センター、水防センターを併せた複合施設と一体となった地域の交流促進や水防訓練など防災学習の場としての利用が期待されます。

●長沼地区河川防災ステーションの概要（施設の内容、機能等）

管理	種別	備考（施設の内容、機能等）
国土交通省	備蓄資材置場	千曲川の堤防決壊に対する復旧資材の備蓄
	災害対策車両庫	格納車両（排水ポンプ車 1 台、照明車 1 台）
	ヘリポート	災害対策ヘリコプターの緊急輸送時の離着陸
	車輛転回場	トラック等の車輛転回スペース
	建設機械活動場所	水防活動や緊急復旧活動等に使用される建設機械類の作業場所
	場内道路等	場内道路、法面、坂路
	その他（法面、坂路等）	
長野市	複合施設	長沼支所、交流センター、水防センター、消防団詰所
	駐車場	駐車可能スペース

資材備蓄エリア

割栗石

崩れた堤防の緊急復旧を行う際の材料として使用します。

根固めブロック

崩れた堤防の緊急復旧を行う際の材料や、洪水による侵食から、河岸や河床を守るために設置するコンクリートブロックを備蓄します。

車輛転回場

緊急復旧活動を行う際の運搬車輛など大型車輛の方向転換に使用します。

碎石

復旧活動等を行う場所の足場や工事用車両の道路を作る際の水たまりやぬかるみの敷き均しに使用します。

ヘリポート

復旧活動や支援物資の運搬等で活動するヘリコプターの離発着場所として使用します。

複合施設エリア

複合施設・駐車場

長沼支所・交流センター 兼 水防センター

複合施設・駐車場は長野市が整備し、災害時には水防活動の拠点として情報収集・発信、水防団員の待機場所として必要な施設です。

また、令和元年東日本台風（台風第 19 号）で被災した長沼支所・交流センター等を移設して併設し、平常時は長野市の行政手続き窓口、地域の交流や防災学習の場として活用します。



複合施設イメージ

災害対策車両庫

災害に備え、排水ポンプ車、照明車を各 1 台配備します。

- ◆排水ポンプ車：洪水時に河川、水路からあふれた水をポンプで排水し、早期の浸水解消を図る車両です。
- ◆照明車：夜間の水防活動や災害復旧活動時に現場の照明を行います。



排水ポンプ車



照明車

土砂備蓄エリア

備蓄土砂

崩れた堤防の緊急復旧を行う際の材料や、洪水時の侵食から河岸や河床を守るために設置する大型土のうの中詰め材料として使用するために備蓄します。平常時は芝生広場として開放します。

資材備蓄エリア

ヘリポート

碎石

割栗石

根固めブロック

周回道路

資機材運搬用坂路

土砂備蓄エリア

備蓄土砂

長沼城土塁跡再現

複合施設エリア

災害対策車両庫

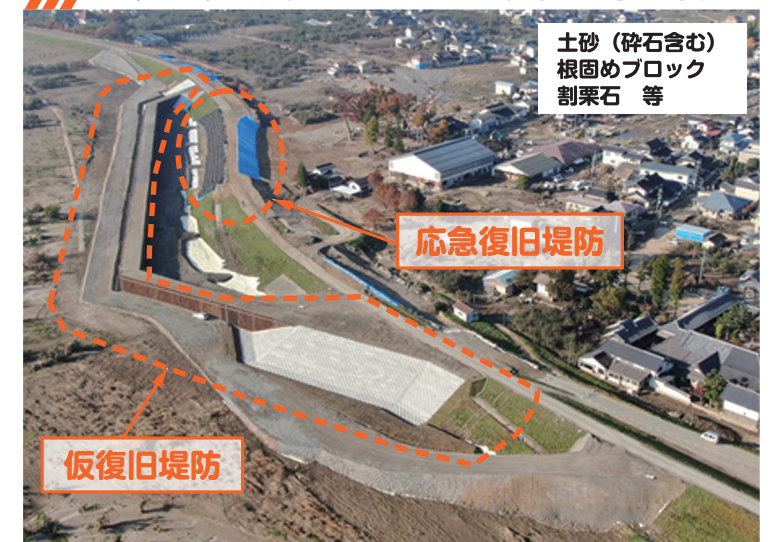
複合施設

駐車場

長沼地区河川防災ステーション 完成予想イメージ 平常時

※本図は検討段階のイメージであり、今後、長野市複合施設のデザインや配置、上面整備は、地元住民の皆さんの意見を踏まえて変更する予定です。

令和元年（2019） 東日本台風における災害復旧工事の例



土砂（碎石含む）
根固めブロック
割栗石 等

応急復旧堤防

仮復旧堤防

千曲川

出水時